



技能五輪 全国大会の報告

平成28年10月21日～24日に、第54回技能五輪全国大会が山形県で行われました。栃木県選手団として本校からは、環境設備科3年碓 尚也君、川合 健太郎君が配管職種、建築デザイン科3年安藤 綾音さんが建築大工部門で参加しました。

配管職種の碓 尚也君が、県内の高校生として初めて敢闘賞を受賞しました。

来年度の技能五輪全国大会は、栃木県で開催されます。地元開催になりますので、一人でも多くの選手が本校より出場できるように、皆様の応援をお願いいたします。

次のページより、各種目の内容と生徒の感想等を載せましたので、ご覧ください。

配管職種

平成28年10月21日（金）～24日（月）、山形県寒河江市「チェリーナさがえ」において、「第54回技能五輪全国大会 配管職種」が行われました。本校からは、環境設備科3年 碓 尚也君、川合 健太郎君が参加しました。銅・鋼・塩化ビニル管などを適切な工具を用いて接合・配置をし、標準時間までに作品の製作を行います。配管職種だけでも全国から58名の選手が集まりました。また、会場の雰囲気も緊迫したものであり、大会当日の朝、二人の様子は非常に緊張していました。競技中、アクシデントにも見舞われましたが、両選手ともに約3か月の練習の成果を発揮することができました。大会の結果は、碓 尚也君 が県内の高校生では初めてとなる敢闘賞を頂くことができました。

大会を終えて2人は、「大変貴重な経験ができたと思います。この経験を活かして来年は表彰台に登れるように頑張りたいと思います。」と話してくれました。

今回、大会に参加するに当たり、材料の援助やたくさんの応援の言葉を頂くことにより、二人は頑張ることができたと思います。大変ありがとうございました。



建築大工

さる10月21日(金)から24日(月)にかけて、山形県寒河江市市民体育館において、『第54回技能五輪全国大会 「建築大工」』が開催されました。「建築大工」では、各県代表の86名が集まり、高度な技術を競い合いました。本校からは、建築デザイン科3年安藤綾音さんが、栃木県代表としては初の女子高校生として競技に参加しました。大会本番前は、たいへん緊張していましたが、競技が開始されると、機敏な動きで順調に課題を仕上げていきました。そして11時間45分ある競技時間を目一杯使い、最高の作品を仕上げることができました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、本職の大工でさえ、最後まで完成させることができない出場者がいる中、時間内に完成させることができたことは、事前の的確な指導ときびしい練習の成果が発揮された結果であります。本人の感想では「競技前は、会場の雰囲気圧迫されましたが、競技中はとにかく無心で作業しました。時間内に完成してたいへん嬉しかったです。来年度からは建築関係の専門学校への進学が内定しているので、来年も是非出場して入賞を狙いたいです」と大会中の気持ちと次年度の栃木県大会に向けての意気込みを語ってくれました。

今後、次年度に栃木県で開催される本大会に向けて、安藤さんを見習って後輩たちが頑張ってくれることを期待します。



本県初 女子高生が出場

山形県で21日開幕する技能

五輪全国大会に、本県初の女子高生選手として宇都宮工業高建築デザイン科3年安藤綾音さん(18)が挑戦する。出場する建築大工の職種は大工ら本職が多く厳しい戦いも予想されるが、本県初開催となる技能五輪を来秋に控え、本県のホープとして活躍が期待される。

技能五輪は23歳以下の若手技能者が41職種で技能レベル日本一を競う。今年は本県から安藤さんや3人の男子高校生を含む50人が17職種に出場する。

安藤さんは、那須烏山市で家具製造業を営む父親大祐さん(48)の背中を見て育ち、「家業を継ぎたい」と同科へ

21日から山形で技能五輪

宇都宮工業の安藤さん



技能五輪全国大会・建築大工への出場に向け製図に臨む安藤さん＝宇都宮工業高

建築大工の職種で挑戦

進んだ。

部活も建築研究部の木材加

工班で、放課後は毎日平均約3時間、のこぎりの使い方な

した高校生5人のうち唯一、

どの腕を磨く。「努力家で負けず嫌い」(顧問の桑川勝巳教諭)といい、始業前のわず

か30分も練習に充てる。今年1月には木材加工の技能検定2級試験に挑み、参加した高校生5人のうち唯一、課題を完成。検定試験での健闘が評価され、選手に選ばれた。

昨年、千葉県で行われた技能五輪を見学した安藤さんはレベルの高さを目の当たりにしつつも「出てみたい」と感じたといい。学校側の打診に「チャンスだ」と心を決めた。

本番は、複雑な形状の小屋組(屋根を支える骨組み)の一部を作る課題に挑む。高さ約60センチで、製図から完成まで2日ばかりで取り組み、約80人と技能を競う。

大会まで3週間に迫り、「時間内に練習よりもいい出来に仕上げたい」と意欲を見せる。

来年11月には本県で初めて技能五輪・アビリンピックが開催される。県などで組織する推進協議会は今後、高校生選手の育成・強化にも力を入れていく考えだ。

(田面木千香)

技能五輪全国大会

本県勢8人入賞

山形県で開かれていた技能五輪全国大会が24日、閉幕した。

として初の入賞を果たした。

本県からは伊藤隆貴さん

23歳以下の若手技能者が技術レベルを競う同大会。

(21) Ⅱ電工、関電工北関東・北信越営業本部栃木支社Ⅱが銀賞に輝くなど、7職種で8人が入賞した。宇都宮工業高3年碓尚也さん(18) Ⅱ配管Ⅱは敢闘賞を受賞し、県勢の高校生

今年21日から4日間にわたって開かれ、全国から約1320人、本県から17職種に50人が参加した。参加者数はいずれも過去最多。閉会式では、来年の開催地である本県の赤松俊彦副知事、吉村美栄子山形県知事から大会旗を引き継がれた。

(田面木千香)

他の本県入賞者は次の通り。

銅賞 榎本匠(タイル張り、ハシモ)伊藤康平(電子機器組み立て、ホンダエンジニアリング)チユン・キクシマ・フロル・ユミコ(レストランサービス、



吉村山形県知事から大会旗を受け取る本県の赤松副知事(右) Ⅱ24日午後、山形県天童市